



妻高校を核とした共育のかたち～西都市・小中高連携による地域総ぐるみのキャリア教育実践～

キーワード

地域連携／小中高連携／キャリア教育／探究活動／体験学習／人材育成／対話・協働

取組概要

妻高校では、西都市の小中学校・行政・地域人材と連携し、体験型キャリア教育を体系的に推進。福祉及び商業の専門学科では、地域に貢献できる人材育成を展開し、総合的な探究の時間「妻みらい塾」では、高校生が地域との協働による地域課題解決に挑戦。さらに、中高・行政・市議会議員による「知恵の輪ミーティング」や「高校生と市議会議員の意見交換会」等を通じて、高校生が地域振興を自分事として捉え、行政・市議会議員とともに議論を深めている。

基礎情報

団体の特徴（学校）

学校創立103年目の県内屈指の伝統校。西都市唯一の高等学校で、約600名が在籍。普通科、普通科文理科学コース、福祉科、情報ビジネスフロンティア科を設置し、地域連携や市内中学校の地域学習「さいと学」と接続した一貫性のある探究活動、資格取得を通じたキャリア教育に力を入れている。

取組の詳細

◆小中高連携による体験型キャリア教育

児童・生徒が望ましい将来像を描けるよう、発達段階に応じた体験型キャリア教育を体系的に妻高が展開

- 小学5年生：「妻高の学習体験会」にて、介護や情報活用などの妻高専門学科の学びを体験
- 中学1年生：「妻高の学びから職業を考えるキャリア学習」で妻高2年生が講師を担当
- 中学2年生：「さいと学アワード」にて中学生が探究発表を行い、妻高生と意見交換
- 中学3年生：「進路特別学習（クロストーク）」妻高生・校長との座談会形式の対話を実施

◆メンター（地域人材）と連携した「妻みらい塾（総合的な探究の時間）」

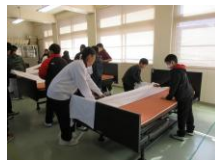
行政・観光・商工・農業などの地域人材が、メンターとして、妻高生の地域課題解決型探究活動を支援

- 高校生が主体となり、地域の課題を調査・分析し、解決策を提案（市補助金活用）
- メンターの伴走により、地域社会との接点を重視しながら学びを深化
- 郷土の活性化を自分事として捉えるグローバル・リーダーの育成

◆地域との協働による地域づくり活動の推進

地域の担い手となる意欲を育む取組を展開

- 「知恵の輪ミーティング」中高生・行政・市議会議員が地域課題について協議
- 「妻高校生と西都市議会議員の意見交換会」妻高生と市議会議員が西都市の未来について協議
- 「地域の祭りへの参画・協力」さいと夏祭り、古墳まつり、都於郡（とのこおり）城址まつり等への関わりを通じて地域とのつながりを深化



成果

- メンター等の「出会うべき大人」との関わりを通じ、生徒の精神的成長が見られた
- 農畜産業など地域の高度な取組を学び、地域を尊重する気持ちが醸成された
- 高校生による地域課題発見と解決提案が、市補助金により実践された
（例）「廃棄野菜からクレヨンへ」、「アートが繋ぐ共生社会」
- 小中高が連携したキャリア教育により、教育の一貫性が構築された
- 学校満足度アンケートの「学んだことを誇りに思う」が県内普通科高校で第1位
- 生徒主体の学校行事における生徒の企画力・運営力が大きく向上した
- 県内・地元企業への就職率が高水準を維持（令和6年度85.4%、令和5年度89.7%、令和4年度95.3%）

課題や今後に向けて

- メンター（地域人材）の継続的な確保と育成
- R8市内中学校再編後の新たな小中高連携による共育のかたちの形成
- 中高間の教科交流研修を充実させ、生徒にとって最適な学びの接続と継続を保障
- 地域資源の更なる発掘と発信力強化（台湾の羅東鎮との姉妹都市交流、桃園市立壽山高級中等学校（姉妹校）や國立羅東高級商業職業学校との交流を強化・活用し、海外へ地域資源・観光の魅力を発信）

推薦教育委員会名：（宮崎県教育委員会）